

ロボティクスの新たな展開 ～人が心を感じるロボット～

2025年 11月 25日(火) 14:30～16:45

理化学研究所 ガーディアンロボットプロジェクト

(株)国際電気通信基礎技術研究所内 1階GRP会議室

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2-2-2

<https://grp.riken.jp/access.html>

自動車でのご来訪は、お控えくださいますよう、お願いいたします。



参加申込：11月20日(木) 17:00迄

<https://forms.gle/npKKZ74sNoZ6EWo48>

参加費：無料

会場での参加：定員 30名

オンライン参加：定員 100名

懇親会：定員15名

(要事前予約：参加費 4,500円)



開催趣旨 近年、生成AIの進化により、ロボティクスはこれまでにない新たな局面を迎えています。AIによる自律的な判断や環境適応能力の向上により、人と共存し、支援するロボットの可能性が飛躍的に広がっています。今回は、理化学研究所のガーディアンロボットプロジェクトを見学させて頂き、人の意図や状況を的確に理解し、適応的に行動する次世代ロボットの研究について、ご紹介頂きます。

講演① 14:35～15:05

ガーディアンロボットプロジェクトが目指すところ

美濃 導彦 氏

国立研究開発法人 理化学研究所

情報統合本部 ガーディアンロボットプロジェクト

プロジェクトディレクター

概要 ガーディアンロボットプロジェクトは、人に寄り添い、人が「こころ」を感じる自律的なロボットの開発を目指しています。そのようなロボットが実現すれば、そのロボットは人に受け入れられ、家庭や社会のあらゆる場面で活躍するようになるでしょう！ 自律機能を実現するためには、「主体性」「目的」「意図」といった高次の機能やそれを支えるさまざまな要素となる外界の認識機能などが必要です。ガーディアンロボットプロジェクトでは6つのチームが一丸となってそれら多くの機能の解明と開発に取り組んでいます。

講演② 15:05～15:35

実世界で対話するロボットを目指して

吉野 幸一郎 氏

東京科学大学 情報理工学院 准教授

国立研究開発法人 理化学研究所

情報統合本部 ガーディアンロボットプロジェクト

知識獲得・対話研究チーム チームディレクター

概要 ロボットなどのシステムが人間と同じ空間で動作するにあたり、言語を用いたコミュニケーションは欠かせないものです。本チームではこうした対話知能の実現を目指して、音声言語を含む実世界での状況理解、意思決定や制御、発話や動作の生成、またその背後にある記憶や知識、感情などのテーマを取り扱っています。これらの研究についていくつかロボットでの動作例を踏まえながら紹介します。

③見学会 15:45～16:45

人に寄り添い、人をさりげなく支援する 自立学習ロボットとの対話体験

<https://grp.riken.jp/news/20250514/>

概要 今年5月20日～26日に、大阪・関西万博で公開された次の3種類のロボットと、対話を体験します。

- [1] **Nikola**: 人の表情筋の動きを再現し、13感情を表出する。
- [2] **Aetro**: 人の動作意図を読み取り、ほど良い手助けができる。
- [3] **Indy**: 人の生活環境で移動し、人間との自然なコミュニケーションができる。

【(C) 理研GRP】

✓[1]～[3]の3種類の新しいロボット体験を、リアルな物理的な空間の中で来場者に提供。
✓さらに、そのようなロボットと共に暮らす2050年の未来社会のイメージを、映像でふくらませる。

[2]人の動作意図の読み取りと、その意図に応じたほどよい手助けが、ロボットでもできる！

